

## **診療情報における傷病名（コード）の妥当性評価と研究利用に向けた基盤整備**

### **1. 研究の対象**

2010年4月1日から2025年3月31日の間に、大阪大学医学部附属病院を受診された方。

### **2. 研究目的・方法**

医療機関には、電子カルテ情報等の診療データが日々蓄積されており、臨床研究や医療の質評価（品質改善）に広く活用されています。これらのデータを用いた研究では、診断名（傷病名コード）を用いて対象集団や研究で確認する評価項目を定義することが一般的です。しかし、傷病名は保険請求や運用上の理由、転記・更新のタイミングなどの影響により、臨床的な診断と一致しない可能性があります。そのため、傷病名に基づいて集団を定義すると、誤分類が生じて研究結果の解釈や再現性に影響しうることが指摘されています。

本研究では、当院の診療データに登録された傷病名について、臨床記録や検査結果、処方・手技等の参考情報と照合することにより、登録病名の妥当性（臨床的診断との一致の程度）を定量的に評価し、院内データを用いた研究・品質改善に利用可能な病名活用の基盤（信頼性と限界）を明らかにすることを目的としています。これにより、当院データを用いた研究における病名定義の精度を把握し、今後のデータ利活用の妥当性向上に資する知見を得ることを目指します。

- ・研究期間：研究機関の長の実施許可日～2029年3月31日
- ・利用又は提供を開始する予定日：2026年2月

### **3. 研究に用いる試料・情報の種類**

情報：日常診療において収集された診療情報を用います。具体的には、研究機関の電子カルテに保存されている以下の情報を用います。患者基本情報（年齢、性別、身長、体重、転帰等）、病名データ、血圧等のバイタルサイン、入退院履歴、受診歴、処置・手術歴、各種記録（カルテ記事・検査レポート・手術記録・診療情報提供書等）、各種検査（画像検査、検体検査、病理検査等）のオーダー歴・実施歴・検査結果、処方・注射のオーダー歴・実施歴など。

なお、本研究において試料は用いません。

### **4. 外部への試料・情報の提供**

外部に情報を提供することはありません。

## 5. 研究組織

### (利用する者の範囲)

研究代表機関：大阪大学医学附属病院・大阪大学大学院医学系研究科

- 情報統合医学講座 医療情報学：武田 理宏
- 変革的医療情報システム開発学（日本財団）寄附講座：和田 聖哉

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○ 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-10 大阪大学・日本財団感染症センター 3F  
大阪大学大学院医学系研究科 変革的医療情報システム開発学（日本財団）寄附講座  
和田 聖哉  
連絡先電話番号：06-6105-6259

研究責任者：

大阪大学大学院医学系研究科 情報統合医学講座 医療情報学  
武田 理宏